



慶應義塾大学ビジネス・スクール

グーグル

— 創造性のマネジメント —

サンノゼ国際空港からサンフランシスコへ向かって、インターステート 101 号線を北へ 10 マイル、ものの 15 分も走ってインターから降りるとマウンテンビューという街に着く。右に折れて一般道を進むと、真っ青な空の下、緑の芝生と所々に茂る木々で覆われた広いスペース、閑静な平屋の戸建住宅が並ぶ市街地がすぐに終わり、新興開発地域特有の荒々しい土肌が目立つようになる。そんな開発エリアの区画に入ってもなく、グーグル本社の広大な本社敷地（キャンパス）が右手に見えてくる。

元々は SGI（シリコングラフィクス社）の本社ビル群だったところを、丸ごと譲り受ける形で今はグーグルが入居している。そんなことを考えながら敷地を歩いていると時代の流れが感じられる。そこはまさにキャンパスというにふさわしく、バックパックを背中に自転車で移動している若者（もちろんグーグルの社員）、ソフトドリンクのボトルを片手に議論しながら闊歩するグループが多く目に入る。中ほどに進むとビーチバレーのコートが見えてきた。ゲームの真最中である。創業者のひとりセルゲイ・ブリンはよくここでバレーをしているというから、あの中にいるのかな、などと思いつつ、目指すビルの受付へ向かった。ここが、いまや世界中の優秀な頭脳が列をなして入社希望に押し寄せるというグーグルの本拠地か。

グーグルとは

「Google（グーグル）は、インターネット上での検索エンジンである。（Google Inc. は、）1998 年、スタンフォード大学で博士号候補であったラリー・ページとセルゲイ・ブリンによって設立された。彼らは WWW 上の情報を見つける方法や、ウェブサイトを開覧している最中でもすぐさま検索が出来

本ケースは、2005 年 8 月に行なわれた Google, Inc. (1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043) ならびにグーグル株式会社（〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー 6F）への取材、ならびに公開資料に基づいて、慶應義塾大学経営管理研究科助教授 岡田正大によって作成された。本ケースは、ケースメソッドに基づくクラス討議のために作成された教材であり、経営の巧拙を評論するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 岡田正大（2006 年 1 月作成）